

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第74号	氏名	Palona Iryna
学位審査委員	主査	朝長万左男	
	副査	関根一郎	
	副査	兼松隆之	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
<p>本研究は、BRAF<sup>V600E</sup>変異を有する甲状腺乳頭癌が示す臨床的高悪性度を、細胞浸潤能の亢進の観点から検討し、その分子病態メカニズムを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
2 研究手法に関する評価			
<p>細胞浸潤能をNF-<math>\kappa</math>B経路の活性化、およびマトリジェル内を細胞が遊走するケモタキセルを用いて浸潤能の亢進を測定する研究手法も、妥当である。</p>			
3 解析・考察の評価			
<p>NF-<math>\kappa</math>B経路のBRAF<sup>V600E</sup>変異特異的亢進が明らかになった。また浸潤能の亢進が変異特異的に生じることが確認された。NF-<math>\kappa</math>B特異的阻害薬DHMEQの添加によりこれらの亢進は抑制された。これらの結果は変異を有する症例に対する分子標的薬の開発研究につながることから、その意義を十分評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は甲状腺癌の分子病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			